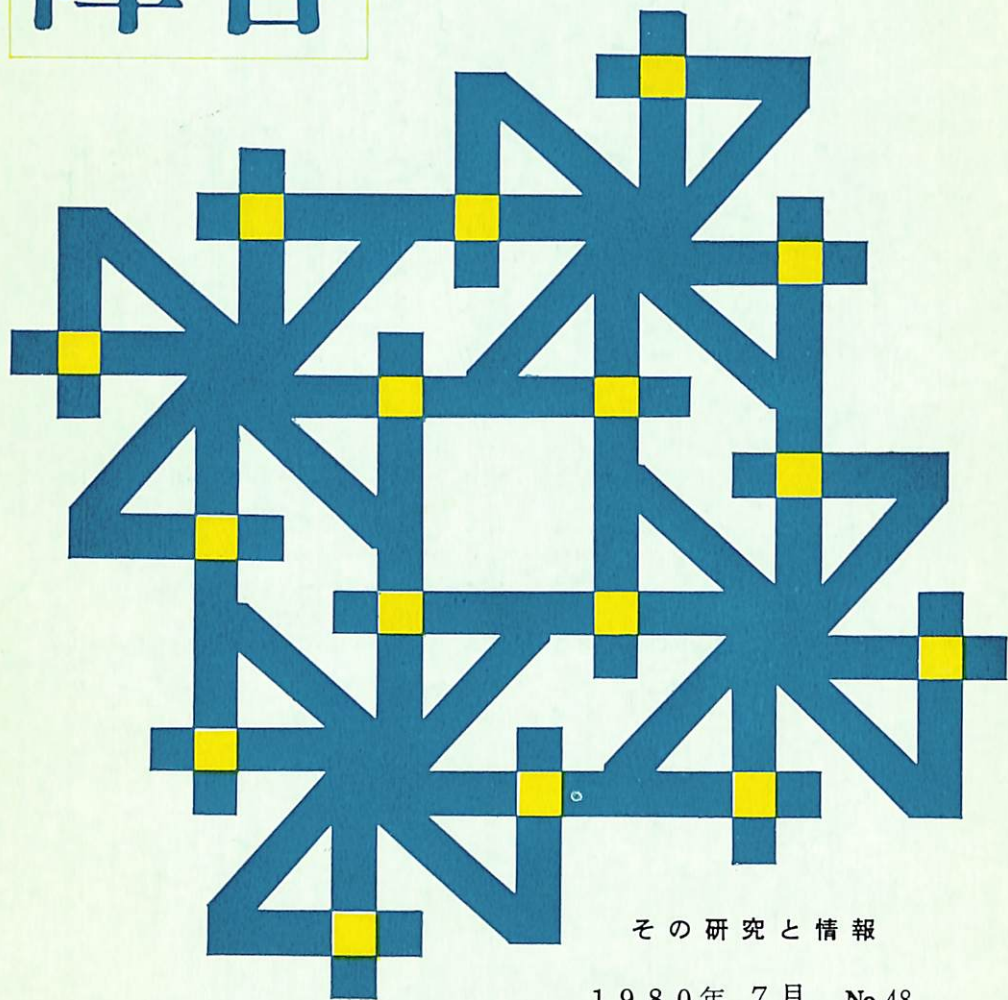


視覚 障害



その研究と情報

1980年 7月 No.48

ISSN 0385-7476

子どもの可能性をひらく教育の創造—今日、子ども達をとりまく現実には厳しい。子どもの自殺や非行、心の病いの多発などは、現代の社会・文化にたち向かう子ども達の深い悩みを反映している。本講座は、成長し発達する子ども達の姿を内面から捉え直し、その豊かな可能性に働きかけて、一人一人が自らの世界を切り開く教育のあり方を探る。教育学・心理学を始め関連諸科学者の協力を得、教育実践の成果を集めてこの課題に応える。

岩波講座

【編集】大田 堯・岡本夏木・坂元忠芳
國原太郎・滝沢武久・波多野誼余夫
堀尾輝久・村井潤一・山住正己

子どもの発達と教育 全8巻

A5判並製函入・平均三四頁・月報付 各巻一八〇〇円

全8巻完結!

◆セット・ケース入り
セット定価一四、四〇〇円

▼本講座は、各巻ごとの分売をいたしますが、是非この機会にセットでご購読くださるよう、おすすめていたします。

全8巻の構成

内容見本進呈

- 第1巻 子どもの発達と現代社会
変化する現代の社会・文化と子どもの内面的変化を、人間発達の視点から追求
- 第2巻 子ども観と発達思想の展開
異なる時代と文化のなかにも様々な視点・発達観を概観し、あるべき姿を考察
- 第3巻 発達と教育の基礎理論
人間らしい発達を促進する教育のあり方を発達と教育との関わりの中で説明
- 第4巻 幼年期 発達段階と教育1
胎児から就学初期迄の子どもの発達の特徴と保育のあり方を実践に則して探る
- 第5巻 少年期 発達段階と教育2
少年期の発達の特徴を探り教育実践をまなべ、この期に含めたい教育を追求
- 第6巻 青年期 発達段階と教育3
現代社会と文化、学校制度等との関連で青年像を解明し、青年期の教育を究明
- 第7巻 発達の保障と教育
子どもの発達を保障する家庭、学校等を検討し、それを實現する筋道をさぐる
- 別巻 発達の記録と分析
自形成史と発達に関わる実践を記録・分析し、人間発達のダイナミズムを明示

岩波書店



〒101 東京千代田一ツ橋
振替番号〈東京〉6-26240

お求めの岩波書店の出版物が小売書店の店頭にない場合は、その書店にご注文下さい。

人間関係 —— 盲人の周辺 ——



久しぶり！私もあなたのこと心配してたの！草山こずえさん（全盲、国際キリスト教大学4年生）

まだ、自分の周囲が味方ばかりだと信じている頃



ハイキングで母親と（筑波大付属盲 幼稚部）



先生と友達と（筑波大付属盲 幼稚部）

実 社 会 で



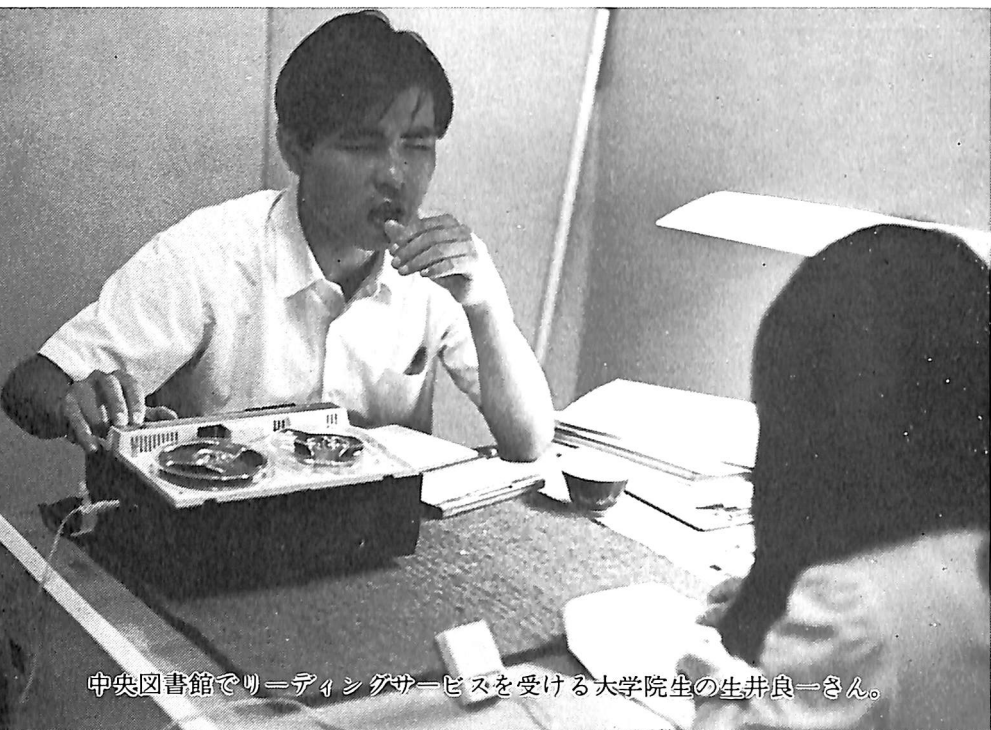
会社で。右：山口和彦氏

きちんと自己主張すれば、いつも和気あいあいとばかりは
 いかない。でもそれでいい。



1日の仕事を終えて。“ここは安いんだ！ 毎日じゃないよ！”

中央：田中徹二氏



中央図書館でリーディングサービスを受ける大学院生の生井良一さん。

人間が、人生を価値あるものとして生きられるかどうかは、我々が、いかに外からのものを受取るか、いかに与えるか、そして、人間が、避けようとしても避けられないものを、いかに敢然と許容するかにかかっている。

(フランクフル)



家庭教師：正眼者の中学生にレーザーライターを使って数学を教える
長岡英司さん（大学院生の頃）。

目 次

1980年 7月 No48

2 ページ評論	本間 昭雄	2
特集 視覚障害者と人間関係		
視覚障害者(児)に対する一般の人々の態度	河内 清彦	5
視覚障害者の就労と職場での人間関係	辻内 弘	26
人・人・人 教員採用試験にパスして		
母校の教壇に立つ有本圭希さん		44
昭和55年度における大学進学状況		48
施設紹介 全国盲人の拠点に一層の発展を 期する日盲福祉センター		
		52
インフォメーション・コーナー		55
編集後記		60

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

今回の企画をたておわって、ちょうど原稿を依頼したときに、週刊新潮が、東京の品川区の盲人職員S氏のことをとりあげた。

盲界では予想どおり大きな反響を呼び、どこの集りでも、一時はこの話題でもちきりだった。多くの意見は、「盲人を差別している。障害者に対する偏見だ。彼の周辺にいる正眼職員の意識が問題だ。管理者はもっと盲人の仕事に理解をもち、配慮すべきだ」という、盲人集団対正眼者の対立意識に根ざしたものであった。点字毎日にした投稿も、おおむねその傾向がみられた。

しかし、その反面、公式の論調の外では、「あれはあながちでっちあげではない。いや、それよりもむしろ正確な記事だ。起因はS個人の人間性にあって、正眼職員との対立を盲人全体に対する偏見と受けとるのはまちがいだ」という声もしきりに聞かれた。こうした意見はなかなか表にでにくいものだが、それをうらづけるのが、本号の辻内氏の原稿であり、盲人に接している人ほど、盲そのものより個人の性格を重視するという河内氏の論文であるといえよう。

(T・T)

視 覚 障 害 1980年 7 月 No.48

年間購読料 2,500 円 (送料とも)

発行日 1980年 7 月 1 日

発行者 本間 一夫

編集者 松井新二郎

発行所 日本盲人福祉研究会

〒160 東京都新宿区高田馬場1丁目
日本点字図書館内 23番4号

電話 (03) 200-1130

振替口座 東京 6-16103

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平2-9-13
電話 (624) 6111 (代表)

協賛団体 日本点字図書館